

自治会館へ太陽光パネル 設置への道のり

所沢市自治連合会 監事

山口地区自治連合会 会長

山口地区環境推進員連絡協議会 理事

神藤 年三

きっかけ

修繕費300万円の有効活用

修繕費が必要になった場合の受け身の活用ではなく、プラスになり、みんなが喜ぶ自治会館にすべく活用したい！

なぜ、太陽光パネル？

- ・ **資産運用**

- － 売電収入で修繕費を積み立てることができる

- ・ **市民皆の為になる**

- － 災害時の緊急電源になる

住民の反応

「修繕費がなかったら災害があったときに心配」

「古くなってきたのでこれからこそ修繕費が必要では？」

「建物の耐震性が心配」

「屋根の耐久性が心配」

「自治会が売電で利益を出すのは如何なものか」

対策

臨時総会を3回実施

住民の懸念点ひとつひとつに対して、丁寧に説明

-収支シミュレーション資料等も用意

-太陽光を自宅に導入した方による説明も実施



ソーラーパネル(太陽光)発電 太陽光発電のメリット

- ・クリーンなエネルギー
気候的に地球温暖化の原因の一つであるCO2をほとんど排出しません
- ・燃料代がかからない
太陽から与えられる光線を利用した発電ですので、全く燃料代がかかりません
- ・光熱費を削減できる
太陽光発電だけで電気をまかなう時間が少しでも増えれば、光熱費を大幅に削減することができます
- ・発電できる
電力は自分の家で使いますが、余った電力は電力会社に売電することで収入を得ます
ですのでシステム設置の初期費用の回収を早めることも期待できます
- ・補助金を受けられる
寄附する自治体(所沢市)から補助金を受けられます
- ・災害時(いざという時)は発電した電力を使用できる
電力の供給がストップした時も、太陽光発電によって発電した電力を使用することができます
実際に真北大震災では太陽光発電の電力で、テレビ情報収集、携帯電話、暖かい飲物を作ったとの事
- ・節電効果を高められる
太陽光発電システムでは、電力の発電量と消費量をモニターで把握することで節電への意識が促される

ソーラーパネル(太陽光)発電 太陽光発電導入の効果予測(町谷自治会)

- ・京都議定書(1997年12月)への協力
地球温暖化の原因の一つであるCO2の削減に自治会として協力
- ・自治会として電気不足への対応
電気使用を減らす 節電
- ・自治会館維持費用の削減と将来への備え
- ・電気代の節約
年間電気代 ¥100,000 → 50
元電気代 ¥300,000
- ・補助金を受けられる
寄附する自治体(所沢市)から補助金を受けられる 補助金(約) ¥1,500,000
- ・収支予測
工事費用 ¥4,860,000 - 補助金 ¥1,500,000 = ¥3,360,000
年間売電金額 ¥250,000の収益
回収年予測 ¥3,420,000 / 年間売電金額 ¥250,000 = 10年
10年後は将来への総投資費用 ¥330,000/年
- ・災害時等の停電時への対応
停電時、太陽光発電によって発電した電力を使用し、可能な限りの電気を消費可能(冷蔵庫
ご飯炊き 食べ物の冷蔵 携帯電話 情報機器の動作)

実際の説明資料(抜粋)

結果

賛成 108名 反対 37名 (一任 132名)

賛成が2/3を超え無事可決

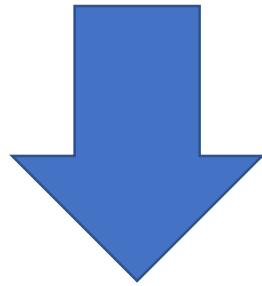
設置枚数 62枚 (想定年間発電量 14,196Kwh/年)

※設置にあたっては市の補助金も活用



効果

シュミレーションでは、
10年目に初期投資額を回収予定



本年度（7年目）には初期投資額回収を達成！